



ご注意ください!

硬質プラスチックは 収集できません!!

資源ごみとしてごみ集積所に出せるプラスチックごみは、このマーク→がついているものだけです。

きちんと
分けてね!

ポリバケツ・プラスチック製容器類

▼イラストは経済産業省のごみイラスト素材集より抜粋



★灯油等中身は抜いておいてください

文具・家電類

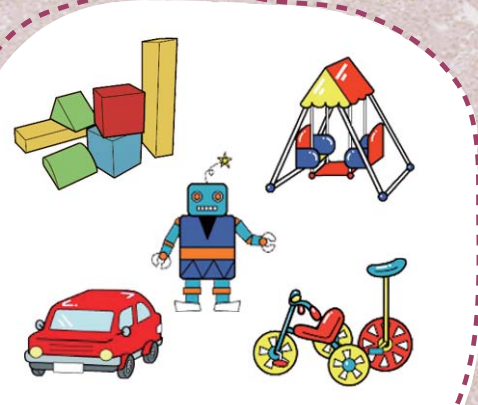


★ビデオテープ、カセット、CD等の
ケースも一緒に出してください

これらの

粗大ごみへ!!

硬質プラスチックは



★乾電池ははずしてください

おもちゃ

分ければ資源、混ぜれば
ごみ。きちんと分別され
て再資源化されると市に
お金が返ってきます。

探してください プラマーク



プラマークは商品のラベルに印刷されていたり、
容器本体に刻印されています。プラマークが無い
プラスチックは粗大ごみに出してください。

- プラマークがついているものは、軽く洗って汚れを
落とし、乾かしてから出してください。
- 中身が取れないもの、汚れや臭いがひどいごみは
燃えるごみに出してください。



香南市 人権啓発 フェスティバル

が開催されました

人権週間(12月4日~10日)の一環として11月23日(土)に人権啓発フェスティバルがふれあい祭りと同場で開催されました。

さまざまな啓発活動

高知県警察音楽隊を先導にフジグランまで人権啓発の行進パレードを行った後、人権擁護委員さんを中心に人権啓発物品を配布しました。

会場では、人権作品・人権啓発パネルの展示やマツサージなどの体験コーナー、スタンプラリー・出店等の催しが行われ、大勢の人で賑わいました。

また、サンホール内の催しでは、オープニングに吉川町若竹子ども会の伝承芸能「太鼓獅子舞」が披露されました。

人権作文発表

最優秀作品に選ばれた3人の人権作文の発表では、小学生からは「お年寄りの人を理解し

て」と題し、高齢者に対する思いやりの気付きを話してくれました。中学生からは「女性の社会的地位について」と題し、男女お互いが理解し合い協力すればきっと男女平等が実現する、との思いを語ってくれました。高校生からは「ベビーカー論争」と題し、列車に乗るベビーカーが邪魔だというクレームに対し、乗せる手助けをする人があまりにも少ないことに愕然とし、弱者に対して「あなたならどうするのか?今一度自分自身に問いかけて」と呼びかけました。

3人に共通していたのは、お互いのちよっとした優しさが人を幸せにすること。お互いを思い、認め、つながり、助け合うことが大切と訴えました。



▶人権作文を発表する佐古小学校の児童

▶チベット出身のバイマージンさん
町からの人事交流職員の屋嘉比健作さんが三線に思いを込めて、ふるさと心・平和の大切さを語り、歌ってくださいました。

人権講演会の開催

人権の講演会では、外国人の人権をテーマにチベット出身のバイマージンさんが、今の自分があるのは、自分に関わってくれた全ての人のおかげだということ、ご主人との出会い、大学での友との苦い思い、時には両親・兄弟への感謝の気持ち、日本に来てからの姑とのすてきな関係、今の日本人が忘れてきているような物の便利さ、家族とのきずなや幸せのかたちをユーモアたっぷりに講演。最後には、チベット民謡と日本の「ふるさと」をアカペラで披露



講演会終了後、来場者の方から三線の弾き語りにも打たれ、バイマージンさんのお話も大変良かった、との多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

★★★

講演会終了後匿名でお二人の方からチベットの子どもの教育支援として寄付をいただきました。後日、バイマージンさんからチベットの教育支援・校舎建設等の基金に充てさせていただきます。お礼と感謝の手紙が香南市あてに届いていることを申し添えます。